



## 付 24 話 コンピュータトラブルは必ず起きる

約 50 年に渡るコンピュータとの付き合いで、理解できたことが 3 つある。一つは、コンピュータは生ものと同じ、必要なときに必要なだけ買うのが上策、買い置きはできない。二つ目は、コンピュータは必ずトラブルが起きる、三つ目は、コンピュータソフトは生き物と同じ、食事を与えないと死んでしまう、である。今回は、「コンピュータトラブルは必ず起きる」についてお話しする。

コンピュータトラブルによって苦い経験を何度もした。読者も同じ経験をしているはずだ。ほとんどが操作ミスや、チョットした取扱いミスによる。ただ、Word のエラーは本当に腹が立つ。結果、復旧には長い時間と、労力と経費がかかる。次回からは気を付けようと固く誓っても、時間が経過するとまたトラブルを起こしてしまう。特に、Word のバグによるトラブルは、いつ起きるか分からない。それまでの文章入力 of 努力を無駄にし、ひどいときはファイルがなくなる。これらの経験からコンピュータトラブルは必ず起きるとして、常時対処することを学んだ。これを実行することは誠に難しい。ついさぼってしまい忘れてしまう。後で、トラブルによって泣きを見る。何度同じ過ちを犯したことが、我ながら恥ずかしい。以下に、経験したトラブルについてお話しする。

まずは、コンピュータトラブルをハードとソフトに分けて紹介する。ハードのトラブルは、初期のコンピュータで多く見られた。特にハードディスク (HDD) は故障し易く、外付けの HDD には動作中の衝撃や振動は厳禁と言われた。ノートパソコンでは、バッテリーが全く充電しなくなったというトラブルが何度かあった。バッテリー交換はコストが高く、その時は本体を買い替えた。HDD の読み書きは、円盤型の記憶媒体を高速で回転させ、アームの先端に取り付けられた磁気ヘッドを浮かせて近接させ、特定の箇所の磁化状態を変化させることでデータを書き込む。同様にして、状態を読み取ることでデータを読み出す。磁気ヘッドが浮いた状態で読み書きするため、振動によって磁気ヘッドが記憶媒体に接触し、傷を付けることがある。初期のハードディスクはちょっとした衝撃でもクラッシュする。その他に、ミニコンで基盤が故障することもあったが、本体そのものが高価で保証期間が長いので交換可能。現在は、ほとんど基盤のトラブルは起きていない。

ミニコンやグラフィック WS(小さめの冷蔵庫程度)では、コンピュー

タを固定した状態で使用しており、私自身は故障を経験していない。パソコンや WS(Work Station)では、移動や振動によって HDD がクラッシュしたことが何回かあった。タワー型のファイルサーバーが突然クラッシュ、四苦八苦で普及を試みたが、結局ファイルの一部が紛失した。後は一ヶ月近く奮闘することになる。現在は、ノートパソコンの内蔵 HDD や外付けの HDD も普及し、酷い扱いをしない限り故障することはない。

近年はソフトによるトラブルが頻繁に発生する。現在でも良く起きるトラブルを紹介しよう。USB メモリーや外付けのハードディスクをシステムから切り離す際、「ハードディスクを安全に取り外して、メディアを取り出す」ボタンをクリックすると、システムから「取出し可能」と表示。すぐさま引き抜くと、ファイルが壊れて読めなくなる場合がある。どうやら、そのメディアの管理情報が当該のメディアに書き込まれる前に、取り除いたことに原因がある。メディアの管理情報は、システムに接続されると、内部メモリーに読み込まれ、切り離す際に再度書き込まれる。このトラブルが起きると悲惨。接続期間に変更したファイルなどが全て読み込めなくなり、ファイルが消失する。近頃では、フォルダー全体を内部 HDD にコピーして備えている。

マイクロソフトの WORD によるトラブルも多く、何時も泣きを見ている。力学のテキストを WORD で書くようになってから、トラブルとの格闘が始まる。ほとんどが、組込み処理機能で発生する。テキストを配布するために組み込んだ Acrobat で PDF に変換していたが、当初は、ファイルに大ききの制限があったのかページ数が多いと変換途中でハングし、変更部分が消失する。現在は修正されたが、その時はファイルを分割してテキストを作成するなど苦労した。

数式を多数使用するため、数式エディタ MathType を組み込み、使用していた。テキストに組み入れた数式が、他の部分の数式に文字化けする。組み込んだ数式が多くなるとこのトラブルが発生する。仕方がないのでここでもファイルを分割してテキストを作成した。現在は、このようなことはないが、ただ、MathType で作った数式をコピーし、他の箇所を変更を掛けると突如、WORD が再起動する場合がある。その時点の変更部分が全て消失、しばし呆然、ため息をつく。Office に含まれるソフトは、コンピュータリテラシであり、基本中の基本、機能を増やすよりも、トラブルフリーにしてほしい。

それ以外にも多々あるが、特にブルースクリーンになったときは慌てた。ファイルの復旧が最優先であるが、その前にファイルのバックアップをこまめに行うことを心に誓う。